特別展

**「千島・樺太・北海道 アイヌのくらし
―ドイツコレクションを中心に―」**

会期　12月6日（火）まで
会場　特別展示館

■関連イベント

◆みんぱく映画会
**「Ainu Past and Present
―マンローのフィルムから見えてくるもの」**
日時　12月4日（日）13時30分～15時45分
（開場13時）
会場　講堂（先着450名）
※参加無料、申込不要
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布
お問い合わせ先
広報企画室　企画連携係
電話　06-6878-8210

◆ギャラリートーク
12月3日（土）

◆みんぱくウィークエンド・サロン
12月4日（日）
※詳細は24ページをご覧ください。

年末年始展示イベント「たつ」

2012年の干支である「たつ」をテーマに、みんぱく所蔵の資料や写真、世界各地の「たつ」にかかわる興味深い情報をパネルなどを使って、ご紹介いたします。また、本館展示場内の「たつ」資料を探しに行く催しも開催します。年末年始の1日を、世界の人びとと「たつ」のつながりを探ってみませんか？
会期　12月15日(木)～2012年1月31日(火)
会場　本館展示場内

INDAS 国際シンポジウム "Media and Power in Contemporary South Asia"

グローバル化のなかで発展する既存マス・メディアや、新技術に触発されたニュー・メディアが南アジアの社会や権力のあり方の変容に及ぼす影響を、多角的に検討します。（発表討論は英語。通訳なし）
日時　12月17日（土）、18日（日）10時30分～18時（両日とも）
会場　第5セミナー室
定員　15名
※参加無料、要申込
参加を希望される方は、氏名・連絡先を明記の上、左記のメールアドレスまでメールにてご連絡ください。
お問い合わせ先
人間文化研究機構「現代インド地域研究」プログラム　国立民族学博物館拠点事務局
E-mail: mindas@idc.minpaku.ac.jp

「たっぷりアメリカ―春のみんぱくフォーラム2012」

雪と氷の地、乾燥した砂漠や草原、熱帯雨林などの多様な自然。古代文明の興亡、ヨーロッパによる植民地化、アフリカやアジアからの移民などの重層的な歴史。そして、さまざまな人間と文化の出会いと交わり。アメリカの多様性と奥行を味わっていただくため、イベントをたっぷり用意しました。

会期　2012年1月7日(土)～3月25日(日)

■関連イベント

「アンデスの楽器「マトラカ」をつくろう」
日時　2012年1月9日（月・祝）13時30分～16時30分
会場　第3セミナー室及び第4セミナー室
※要申込、参加費840円（材料費など実費）
お問い合わせ・参加申込先
財団法人千里文化財団
電話　06-6877-8893
※たっぷりアメリカ関連のみんぱくゼミナールは左のページをご覧ください。
※この他にも様々なイベントを予定しています。お楽しみに！

「ウメサオタダオ展―未来を探検する知の道具―」
今春みんぱくで開催されていた特別展「ウメサオタダオ展―知的先覚者の軌跡」をバージョンアップしたもので、とくに「情報産業論」に関する展示が増えます。
会期　12月21日(水)～2012年2月20日(月)
会場　日本科学未来館
東京都江東区青海2-3-6
電話　03-3570-9151（代表）
http://www.miraikan.jst.go.jp/

●展示場新構築のお知らせ
ヨーロッパ展示とインフォメーション・ゾーンが来年3月に新しく生まれ変わります。それに伴い1月上旬にヨーロッパ展示が、展示場新構築工事のため閉鎖される予定です。今のヨーロッパ展示の見納めですので、ぜひ展示場に足をお運びください。

●休館日・無料観覧日のお知らせ
年末年始は12月28日（水）から1月4日（水）まで休館します。
1月9日（月・祝）成人の日は、本館展示を無料で観覧いただけます。ただし、自然文化園（有料区域）を通行される場合、入園料が必要です。
＊電話でのお問い合わせの受付時間は9時から17時（土・日・祝を除く）です。

刊行物紹介

■陳 天璽 著
『無国籍』
新潮社　定価：580円

横浜中華街で育ちながら、空港での入国拒否という衝撃的な形で、自らが無国籍者であることを知った著者。曲折を経て日本国籍を取得するまでを、多くの無国籍者たちのルポを交えつつ語った半生記。
（東京新聞 2011年10月2日文庫書評より）

■駒井 洋 監修、陳 天璽・小林 知子 編著
『東アジアのディアスポラ（叢書グローバル・ディアスポラ1）』
明石書店　定価：5,250円

日本、中国、朝鮮半島出身のディアスポラの離散過程と現在の状況を概観する。「国民国家」の枠組みや日本、朝鮮の単一民族幻想のため、移住先での個別研究の枠組でくくられ研究されることが多かった東アジア地域のディアスポラを一つにまとめ、比較検討する。

みんぱくゼミナール

会場　国立民族学博物館 講堂
時間　13時30分～15時（13時開場）
定員　450名（当日先着順）
参加費　無料（展示をご覧になる方は、観覧料が必要です）

第403回　12月17日(土)
中東のキリスト教徒―したたかなマイノリティ
講師　菅瀬晶子（国立民族学博物館 助教）
イスラーム教徒が人口の90パーセント以上を占める中東で、圧倒的少数派ながら、「イエスが生まれ育った土地」に生きる者としての誇りを持つキリスト教徒たち。あまり知られていない彼らの日常生活やイスラーム教徒との関係、歴史のなかでの役割を、パレスチナやレバノンなど、東地中海地域の事例をもとにご紹介します。

第404回　1月21日(土)
【たっぷりアメリカ―春のみんぱくフォーラム2012」関連】
アメリカ南西部先住民の宝飾品
講師　伊藤敦規（国立民族学博物館 助教）
きらめく銀、空色のトルコ石、太陽の赤のサンゴ。アメリカ南西部の先住民の宝飾品は広く世界に知られています。この地域の民族集団に特徴的な宝飾品の様式をご紹介するとともに、民族集団ブランドとして創出したホピ族の宝飾品産業の歴史と現状を詳しく解説します。

友の会

国立民族学博物館友の会　電話06-6877-8893（平日9時～17時）　FAX06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/　e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会（大阪）
会場　国立民族学博物館 第5セミナー室
定員　96名（当日先着順、会員証提示）

◆「たっぷりアメリカ
―春のみんぱくフォーラム2012」関連
【フィールドワークの醍醐味を語る】
アマゾン川上流のキリスト教文化
―ボリビア、モホス平原の自然と歴史―
講師　齋藤 晃（国立民族学博物館 准教授）
アマゾン川流域の南西の端、アンデス山脈との狭間には、日本の総面積の約半分に相当する広大な平原が広がっています。高温多湿の厳しい自然環境における人びとの暮らし、そして西欧との接触以降の複雑な歴史を、わたしの個人的体験を交えてご紹介します。
第404回　2月4日（土）14時～15時
【フィールドワークの醍醐味を語る】
マヤから世界へ
―私のフィールドワーク体験
講師　鈴木 紀（国立民族学博物館 准教授）

◆「たっぷりアメリカ
―春のみんぱくフォーラム2012」関連
親子ワークショップ
1. **アンデスの楽器「マトラカ」をつくろう**
1月9日（月・祝）
2. **アルゼンチンのカーニバルの仮面をつくろう**
2月12日（日）
3. **ひょうたんの楽器をつくろう―ホビのくらしとお天気**
3月10日（土）
※すべて要申込。内容や費用などの詳細は上記友の会まで。

第64回体験セミナー
進化する日本酒づくり―伏見から世界へ（仮）
日時　2月26日（日）10時30分～16時
（訪問先）御香宮神社、月桂冠大倉記念館ほか
※申込先着順。内容や費用などの詳細は上記友の会まで。

今年の冬は暖かいアルパカと過ごしませんか

いま、南米産のアルパカをつかったセーターやカーディガン、手袋、耳あて帽などをたくさんとりそろえています。
生後1年のアルパカの産毛は「ベビーアルパカ」とよばれ、非常に柔らかく、保温性に優れています。それをつかった製品は、寒い冬でもほっこりあたたかく、冷えた体と心を包み込んでくれるでしょう。
お気に入りのアルパカを見つけに、ぜひミュージアムショップにおこしください。

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ
電話　06-6876-3112
FAX　06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

ポンチョ	14,700円
ベレー帽	1,575円
手袋	1,890円（すべて税込み）

※他セーターやカーディガン、ベストなど色々取りそろえております。